

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道294号 <small>かわみなみ</small> 川南拡幅 <small>なす からすやま むかた</small> 起終点 自：栃木県那須郡烏山町向田 <small>なす からすやま むかた</small> 至：栃木県那須郡烏山町向田	事業区分 一般国道	事業主体 栃木県 延長 1.26km
事業概要 一般国道294号は、千葉県柏市を起点として、本県東部を縦断し、福島県白河市を經由し会津若松市に至る幹線道路であるほか、烏山町の南北軸の骨格を形成し、八溝地域の観光産業や、地域の人々の日常生活を支える重要な路線でもある。本事業区間は、道路幅員が狭く平面線形が屈曲しているため、大変危険な区間になっている。川南拡幅は、現道の屈曲・狭隘部を解消し、歩道も整備することにより、円滑な交通や歩行者、自転車等の安全の確保を目的とした1.26kmの2車線道路である。		
H7年度事業化 都市計画決定なし		H8年度用地着手
全体事業費 14.6億円		事業進捗率 96%
計画交通量 9,000台/日		供用済延長 0.96km
費用対効果分析結果 B/C： (事業全体) 1.6 (残事業) 7.8	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 1/4 億円 (事業費：1/4億円 維持管理費：0/0億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 6/6 億円 (走行時間短縮便益：6/6億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円)
基準年 ：平成16年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（福島空港へのアクセスや町営バスの利便性が向上する） ・物流効率化の支援（常陸那珂港へのアクセス向上及び農林業の流通の利便性が向上する） 他16項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 川南拡幅は、通過車両の円滑な交通、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、烏山町をはじめとする関係9市10町5村の首長で構成される国道294号建設期成同盟会より早期整備の要望（平成16年8月5日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに向田橋側道橋と主要地方道宇都宮向田線との交差点部を除いて供用したところである。向田橋の側道橋について施工中であり、平成16年度内に完成する予定である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 相続関係人が31名の相続未了の土地があり、この相続手続きに係る関係地権者の同意を得るのに、時間を要した。平成16年度末までに用地買収を完了させ、平成17年度に全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 現橋架替えから車道橋を利用し側道橋のみを設置。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。